

Sクリートリストア工法

施工要領書

BIRCS

株式会社バークス環境

概 要

S クリートリストア工法は、劣化したコンクリートをリフレッシュし、新築時の状態に再生する工法です。劣化したコンクリートを改質強化し、クラックを目立たなく補修し、適度に化粧を施し、コンクリート打ち放しの風合いを再生すると同時に、長期間に渡り防水効果を発揮し、コンクリートの劣化を防止します。

特 長

S クリートリストア工法は、下記の3種の製品それぞれの特性を活用した複合工法です。下記の3種の製品は無機質ベースで構成されている為、コンクリートとの相性が良く、耐久性、透湿性に優れています。

1、S クリートアップ：浸透性ケイ酸塩系改質・強化剤

中性化したコンクリートをアルカリ改質し、緻密化して強度を向上させクラックの再発を防止します。また、S クリートクラック注入材の接着向上が付加されます。

2、S クリートクラック工法：超微粒子セメントクラック注入材・表面被覆材

超微粒子セメント+専用樹脂+清水で構成された注入材をクラックにすり込む工法。クラックの再発が少なく、Uカットせず綺麗に目立たず補修ができます。

3、S クリートカラー：シラン・シロキサン系コンクリート調色材

半透明な水性無機質塗料で、コンクリートとの密着性が良く、クラック補修跡やコンクリートの変色部位を綺麗に調色します。色は白とグレーの2色で、グレーは平均的なコンクリート色に調色されています。

○S クリートリストア工法は、浸透性と速乾性の製品で構成されている為、数量が少ない場合は1日で、3工程を完工できます。(高圧洗浄は別)

※各製品の詳細は別途カタログ、仕様書を参照願います。

施工可能な素地

コンクリート・モルタル

施工前確認事項

1、下地の汚れ、カビ、レイタンスは高圧洗浄等にて除去してください。酸洗いをした場合は

必ずアルカリ中和処理をしてください。アルカリ中和処理は弊社にて、SCクリーナーをご用意しております。

2、雨天時の施工は避けてください。施工可能な気温は5度以上です。

施工用具

ローラー（短毛ウーローラー）・刷毛・噴霧器・ゴムベラ・金ベラ・固めのスポンジ・フェルト材・バケツ・ハンドミキサー・計り等

施工

1、養生

ガラス、アルミサッシ、金属、その他一般的な養生をしてください。

2、下地処理

- ・カビ、藻、レイタンス等は高圧洗浄にて除去してください。
- ・爆裂補修はペガサビン（浸透性亜硝酸系防錆材）を使用し、セルガード工法（別紙カタログ、仕様書参照）にて補修することをお勧めします。

3、Sクリートアップ

- ・水性の無色透明な液体ですが、アルカリ性が高いので、作業はゴム手袋を使用してください。
- ・缶を良く振ってから、そのまま原液で使用ください。
- ・塗布は短毛ウーローラー、刷毛、噴霧器を使用し、適量を均一に塗布してください。
- ・塗布量は通常2回塗りで200cc/m²以上が目安ですが、劣化の激しいコンクリートは300cc/m²以上必要になる場合があります。
- ・1回目と2回目の間隔は、2～3時間程度です。

4、Sクリートクラック工法

- ・クラック注入タイプのセット内容：超微粒子セメント1Kg・専用樹脂200cc・Sクリートアップ1L・無機黒顔料20g
- ・クラック注入タイプの調合：超微粒子セメント1に対し専用樹脂0.2+清水0.8、黒顔料適量の割合で、ハンドミキサーにて良く攪拌してください。
- ・表面被覆タイプのセット内容：超微粒子セメント4Kg・専用樹脂2L・無機黒顔料50g（表面被覆タイプは劣化の激しいコンクリートの全面に、ローラー等にて塗布し、表面を強化させる工法です）
- ・表面被覆タイプの調合：超微粒子セメント1に対し専用樹脂0.5+清水0.6程度、

黒顔料適量の割合で、ハンドミキサーにて良く攪拌してください。

- ・ S クリートアップを十分に塗布した後、極力追っかけにて、調合した注入材を、ゴムベラ等にて、クラックに沿ってすり込んでください。
- ・ 幅 0.2mm 以下の細いクラックは あらかじめカッターナイフにてクラック幅を広げてください。
- ・ 幅 1mm 以上のクラックは 1 回のすり込みだと痩せる場合がありますので、再度すり込んでください。
- ・ コンクリート表面に残留した注入材は、金ベラやスクレイパー等で、平滑になるまで削ぎ取ってください。
- ・ 触指にて補修面が平滑になっているか、確認してください。
- ・ 乾燥は早いので、1～2 時間後には次の工程（S クリートカラー）に入れます。

5、S クリートカラー

- ・ 調合は、通常清水にて倍希釈（1：1）して、ハンドミキサーにて良く攪拌して使用ください。コンクリートの補修跡や変色が目立つ場合は、水量を減らしながら調整してください。
- ・ 標準色のグレーは、平均的なコンクリート色に調合されていますが、既存コンクリート色と合わない場合は、液体無機顔料 黒、黄、白（別売り）にて調色できます。
- ・ 塗布は短毛ウーローラー・マイクロファイバーローラー（毛先 13mm）にて 2 回塗り（追っかけ）にて納めてください。
- ・ ボカシを入れる場合は、フェルト材か固めのスポンジ等を使用し、はたき塗りしてください。（別紙 S クリートカラ仕様書を参照）
- ・ S クリートカラーは超速乾性ですので、1 時間程度で十分に乾燥します。

6、S クリートガード

- ・ S クリートカラーを塗布しない部位には、S クリートガードを塗布して防水保護してください。
- ・ 弱溶剤系の無色透明な液体です。作業はゴム手袋を使用してください。
- ・ 缶を良く振ってから、そのまま原液でご使用ください。
- ・ 塗布は短毛ウーローラー、刷毛、噴霧器を使用し、適量を均一に塗布してください。
- ・ 塗布量は通常 2 回塗りで $200 \text{ cc} / \text{m}^2$ 以上が目安ですが、劣化の激しいコンクリートは $300 \text{ cc} / \text{m}^2$ 以上必要になる場合があります。
- ・ 1 回目と 2 回目の間隔は、3～4 時間程度です。

7、オプション施工

○ペガサビン・セルガード工法：浸透性亜硝酸カルシウム系防錆剤

- ・コンクリートの鉄筋の錆が懸念される場合は、コンクリート表層からペガサビンを塗布することで、防錆処理が可能です。塗布量：300～400 c c / m²（2回塗布）
- ・爆裂補修の際もペガサビン・セルガード工法（モルタル混入工法）が有効です。

○Sクリートフロー：無機質シロキサン系コンクリート床用調色材

- ・コンクリート床面の場合は Sクリートカラーではなく Sクリートフローをお勧めします。超微粒子セメントを混入し強度を向上させています。

8、注意事項

- ・Sクリートアップが、鉄、ガラス、タイル等吸水しない下地に付着すると白く結晶化しますので、必ず適切に養生してください。
- ・Sクリートガード原液に、水が混入するとゲル化しますので、絶対に水が混入しないよう注意してください。
- ・保管はキャップをしっかりと閉めて、直射日光の当たらない、60度以上、0℃以下にならない場所で保管ください。半年～1年程度は保管ができます。